

月刊 社会保険 12

2022 VOL.869

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

中小企業の従業員のiDeCoに上乘せ iDeCo+ (イデコプラス)

12月1日は「世界エイズデー」

12月は職場のハラスメント撲滅月間です! ~ハラスメントのない職場を目指して~

マイナンバー保検証を利用しませんか? 令和4年10月1日より診療報酬の加算が見直されました

治療と仕事の両立支援オンラインシンポジウム/事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン

働き方・休み方改善ポータルサイトを活用して働き方・休み方改革に取り組んでみませんか?

日本年金機構からのお知らせ

令和4年10月から一部の届書レイアウトが変更になりました

協会けんぽからのお知らせ

【事業主の皆さまへ(お願い)】2023年1月以降新様式のご使用をお願いします

| | |
|---|----|
| 中小企業の従業員のiDeCoに上乗せ iDeCo+(イデコプラス) | 4 |
| 12月1日は「世界エイズデー」 | 6 |
| 12月は職場のハラスメント撲滅月間です! ~ハラスメントのない職場を目指して~ | 8 |
| マイナンバー保険証を利用しませんか? 令和4年10月1日より診療報酬の加算が見直されました | 10 |
| 治療と仕事の両立支援オンラインシンポジウム/事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン | 12 |
| 働き方・休み方改善ポータルサイトを活用して働き方・休み方改革に取り組んでみませんか? | 14 |
| 日本年金機構からのお知らせ 令和4年10月から一部の届書レイアウトが変更になりました | 15 |
| 協会けんぽからのお知らせ 【事業主の皆さまへ(お願い)】2023年1月以降新様式のご使用をお願いします | 16 |
| 労働法のポイント 第8回 労災保険の特別加入制度 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス | 18 |
| 年金・健康保険委員活動報告 従業員と家族の幸せを第一に 明星セメント株式会社系魚川工場 総務部長 川合 宝次 | 20 |
| 新たな時代の働き方改革 —AI分析でわかった トップ5%社員に共通する習慣 第8回 レジリエンス(復元力)でストレスから逃れる 株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司 | 22 |
| 書評 磯野 真穂 著/他者と生きる リスク・病い・死をめぐる人類学 | 24 |
| 企業との協働がもたらすもの —“がん患者”から“生活者”支援へ 第8回 自社の技術とブランドイメージを生かした、衣料から“衣療”への展開 グンゼ株式会社 NPO 法人がんサーリボンズ 編 | 25 |
| 認知症を予防する⑤ 第8回 毎日紅茶を2杯以上飲むと死亡率が減少 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二 | 28 |
| 社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ | |

表紙写真・竹内敏信事務所/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことはば——照る日・曇る日「初冬」

福島県/南会津町



雪が降ると別世界のように風景をガラリと変える。その光景は誰もが経験したことだろう。街であればコンクリートを隠し真っ白な世界に。自然であれば樹々の枝に付着し美しい造形を見せてくれる。美しい風景は、自然豊かな場所や遠くへ足を運ばないと見られないと思われがちではあるが、身近にある風景を多くの人は見落としている。

当たり前ではあるが、私が住む東京でも美しい自然はある。それをどう感じ取ることができるか。遠くに出向くのが億劫になりがちであれば、近所を新しい視点で見てみてはどうだろうか。

写真/竹内敏信 文/TAフォト&サウンドオフィス

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

従業員と家族の幸せを第一に



明星セメント株式会社糸魚川工場 総務部長
川合 宝次

●糸魚川市の紹介

新潟県糸魚川市は、中部山岳・妙高戸隠連山国立公園に囲まれ、平成21年8月に日本で初めてユネスコの世界ジオパーク（大地の公園）に認定された、自然豊かで風光明媚な街です。

フォッサマグナ、糸魚川静岡構造線に代表される日本列島形成の貴重な地質や素晴らしい景観が数多く、日本随一の翡翠の産地でもあります。また、平成27年3月の北陸新幹線開通により首都圏や関西圏などからの交通の利便性が格段に向上しました。

また、故郷を築き支えた文人、相馬御風の出生地であり、童謡「春よ来い」、日本初の流行歌「カチューシャの唄」、そして自身の母校早稲田大学校歌「都の西北」等、今も日本中で愛されている名曲の作詞者です。

●会社紹介

弊社は昭和33年5月に設立し、その5年後に操業を開始、高品質で豊富な石灰石鉱床を背後に持ち、この「ジオの恵み」を原料として省エネル



工場のシンボルとなっている社名入りの煙突

ギーに優れた製造設備で各種セメントを製造しています。

また、物流拠点となる姫川港を利用して、セメント、石灰石製品を太平洋セメントブランドで国内はもとより、韓国、中国、台湾、東南アジアに向けて輸出拡大を進めています。

昭和63年には品質マネジメントシステム「ISO9002（現ISO9001）」、続いて翌年には環境マネジメントシステム「ISO14001」を取得し、永年培ってきたセメント製造プロセスの特色を活かし各種産業廃棄物並びに一般廃棄物を活用、処理することを通じて社会貢献に努め、更に平成14年にはバイオマス発電事業にも進出し、環境にやさしい企業を目指しています。

●年金委員としての原点

私は、平成4年4月に弊社に入社後、労務・経理・総務・資材と会社の間接部門をひと通り経験し平成16年以降、一貫して総務人事部門に籍を置き、主に従業員に直接係る各種業務を担当しています。その間、平成22年には厚生労働大臣より年金委員の委嘱を受け、現在も委員として活動を進めています。平成27年にはそれまでの年金委員活動が高く評価され、栄誉ある日本年金機構理事長表彰を受賞させて頂きました。本表彰は、その後の年金委員活動の大きな励みになっています。

常日頃より、従業員から定年退職後の老後の生活設計に重要な年金制度に関する問合せや様々な相談を受けますが、その際に心掛けていることは、「会社組織の一員として大切な人材である従業員と家族の幸せ」です。私が、このモットーを貫く転機となった出来事があります。振り返ると、入社数年が経ち労務関係の業務をひと通り理解でき始めた頃、ある1人の定年退職者へ退職手続きを行った際、各種説明が終わった最後に、その従業員から「この素晴らしい

会社で42年間大過なく仕事ができて、本当に幸せでした。いつまでも会社が発展し続けられるよう、これから皆さんで頑張ってください。」と、感極まり涙ながらに貴重な言葉を頂きました。私には、瞬時にその従業員のご苦勞された日々が頭の中を駆け巡り、背筋にピンとした緊張感が走ったことを今でも鮮明に記憶しています。この従業員と私は職場が違いますが、一緒に仕事をした間柄ではなかったのですが、当時20歳代後半の若僧に発せられたこの一言が、その後の私の仕事に対する意識を一変させてくれたと言っても過言ではありません。この出来事以来、毎年のように数多くの定年及び定年後の再雇用退職者を送り出してきましたが、皆さんから同様に感謝の言葉を頂く度に、益々「従業員と家族の幸せ」への思いは確固たるものになっていきました。

私は、社会保険労務士免許を所持している訳でもなく、1人の年金委員としてできることに限りはありますが、自身の持っている知識を使い、時には最寄りの年金事務所へ相談し、また時には顧問である社会保険労務士に指導を仰ぎながら、従業員

がスムーズに、そして幸せな第2の人生を送ることができるよう、側面からサポートしていくことが、年金委員としての重要な使命のひとつであると考えます。

また、私自身の過去の経験から、年金シニアライフセミナーや定年後の生活設計セミナー等、社外での教育資源を積極的に活用することも、年金委員としての活動をより充実させる有効な手段であると位置付けています。この他にも活動は多岐に渡りますが、現在、喫緊の課題として日本年金機構が利用促進を推奨している「ねんきんネット」サービスについても、従業員へ広く普及促進するためアクセスキーの事業所一括申請を進めているところであります。

●委員会活動

弊社は、上越及び糸魚川地域を所轄する上越年金事務所の適用事業所が会員となる上越社会保険委員会に所属しています。本会は昭和38年に発足、現在会員数は422事業所、435名の委員が登録しています。本会の目的でもある社会保険の趣旨普及を始め、年金委員・健康保険委員

相互の知識・経験の交換等を通じて委員制度の発展を図るべく、各種活動を展開しています。地元社会保険協会とのタイアップ事業であるバスハイキング、健康ウォークは歴史の長い伝統行事であり、更に毎年開催する委員大会、そして各種事務研修会を通じて各委員の知識向上を図っています。私は年金委員の委嘱を受けて以降、当委員会理事職を仰せつかり、今年度より会長職を拝命することとなりました。身に余る大役ではありますが、今までの歴史と伝統を受け継ぎ、そしてこの重要なバトンを後世へとしっかりと引き継げるよう、微力ではありますが全力投球する所存です。上越年金事務所からの指導を頂き、更に本会の副会

長、理事・評議員の皆様からのご支援ご協力を頂き、今後も暫くはコロナ禍が続くと予想されますが、安全・安心を第一に各種活動を展開していきます。

（上越社会保険委員会会長）



セメント・石灰石出荷の物流拠点である姫川港